

第6次東浦町総合計画第2期基本計画（案）

1 趣旨

東浦町では、将来の東浦町をどんなまちにするのか、そのためにはどんなことをしていくのかといった、まちづくりの進め方を分野ごとに記載した「第6次東浦町総合計画第2期基本計画（案）」を作成しました。

総合計画は、東浦町が持つ計画の中で最も上位の計画です。この総合計画をもとに、今後、東浦町はまちづくりを進めていきます。

この第6次東浦町総合計画第2期基本計画を策定するにあたり、広く皆様から意見を募集します。

2 目的及び背景

東浦町では、将来の東浦町の目指す姿の実現に向けて、その方向性を示すまちづくりの羅針盤を共有するために2019年3月に「第6次東浦町総合計画（2019～2038）」を策定しました。

総合計画は、20年後の東浦町を見据え「どんなまちを目指すのか」を定める「基本構想」と、5年単位で「何をするのか」を整理する「基本計画」、基本計画の内容を「どのように行うのか」を組み立てる「実施計画」の3層構成としています。

このうち、基本計画については、5年単位で見直すこととしており、本年度は「第1期基本計画（2019～2023）」の最終年度にあたり「第2期基本計画（2024～2028）」を策定する必要があります。

3 実施機関の考え方

2024年度から2028年度までの5年間を計画期間とする第2期基本計画の策定にあたっては、各施策の進捗状況などを踏まえつつ、Society5.0やデジタル・トランスフォーメーション（DX）等のICTを取り巻く環境の変化、SDGsの達成に向けた脱炭素社会構築の要請などの社会潮流のほか、新型コロナウイルス感染症の影響や台風等の自然災害の激甚化などの社会経済情勢の変化をはじめとする本町の現状を捉えたものとししました。

また、基本計画は総論と各論で構成していますが、第1期基本計画（総論）で示した「施策の方向」や「施策」については、基本構想に基づき設定され、短期的な社会経済情勢に左右されることのない概念的なものであることから、第2期基本計画の策定にあたっては、主に、第1期基本計画（各論）の「目標を実現させるための取組」及び「取組の成果指標」に力点を置いて見直しを行いました。